令和8年度

板野西小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇小学校6年間を見通した「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善
〇個に応じたきめ細やかな指導の充実

校長　長家　誠

学力向上推進員　越智　柚衣

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

アンケートの実施（教員・児童対象），校内研究授業での報告

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇与えられた課題には真面目に取り組む。 ●基礎的・基本的な知識・技能の定着に個人差がある。 ●学習した言葉や漢字を日常的に活用することができていない。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、生活場面や活用問題で使うことができる。 ・語彙数が増え、正しい言葉や漢字で文章を書いたり読んだりできる。	・辞書やタブレット・ドリル等を活用し、習熟の時間や個人指導の時間をとる。 ・小テストを行い、定期的に理解の定着を図る。 ・日記や短作文によって，どれだけ既習漢字を使うことができたかを可視化し，反復して学習できるようにする。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇方法や手順（型）を提示し、丁寧に説明すると、表現活動に積極的に関わることができる。 ●必要な情報を選び、根拠を示したり筋道を立てたりして自分の考えを表現することが苦手な児童が多い。	・目的や相手を意識し、根拠を明らかにしながら自分の考えを積極的に話したり書いたりできる。 ・わからないことがあっても自分から進んで調べ、解決することができる。	・各教科において、ペア学習やグループ学習を取り入れた話し合い活動を行ったり、子どもたちに問い返したりすることで、自分の考えやそれに至った理由や根拠を表現できるようにする。 ・根拠を明らかにして自分の考えを伝える経験や調べ学習を通して、自己解決の経験を多く積ませる。 ・お互いの考えや思いを聞き合える学級づくりをする。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇家庭学習の習慣が身についている児童や、決められた課題に根気強く取り組むことができる児童が多い。 ●自ら課題を見つけて、見通しをもって取り組むことが苦手である。向上心をあまりもたず、現状に満足している児童が多い。	・自主的に学習に取り組み、自分自身を向上させたいという意欲をもつことができる。	・学ぶ目的を明確に示し、具体的な目標を立て、学習に見通しをもたせるとともに、その目標を達成できているモデルとなる姿を提示し、互いに高め合えるようにする。 ・自ら課題を見つけ試行錯誤を繰り返す中で、主体的に学ぶ態度を育成させる。 ・めあてに対する振り返りを習慣化し、自分の成長を実感したり、課題を発見したりできるようにする。			